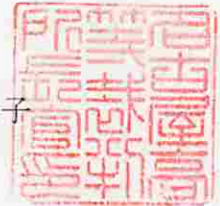


名高裁総第354号

平成31年4月24日

山中理司様

名古屋高等裁判所長官 綿引 万里子



司法行政文書開示通知書

3月7日付け（同月11日受付）で申出のありました司法行政文書の開示について、下記のとおり開示することとしましたので、通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称

- (1) 綿引長官着任記者会見開催要領（片面で5枚）
- (2) 幹事社代表質問事項及び出席予定記者（片面で1枚）
- (3) 綿引名古屋高等裁判所長官略歴（片面で1枚）

2 開示しないこととした部分とその理由

1の(2)の文書には、個人識別情報（氏名）が記載されており、この情報は、行政機関の保有する情報の公開に関する法律第5条第1号に定める不開示情報に相当することから、この情報が記載されている部分を開示しないこととした。

3 開示の実施方法

写しの送付

綿引長官着任記者会見開催要領

1 日時

9月10日(月)午後1時10分から午後1時40分まで

2 場所

名古屋高等裁判所中会議室(11階)

3 写真撮影等について

総務課長の合図の時から代表質問終了までの間、カメラによる撮影等を認める(撮影位置は自由)。

4 配席

別紙1のとおり

5 記者会見進行次第

別紙2のとおり

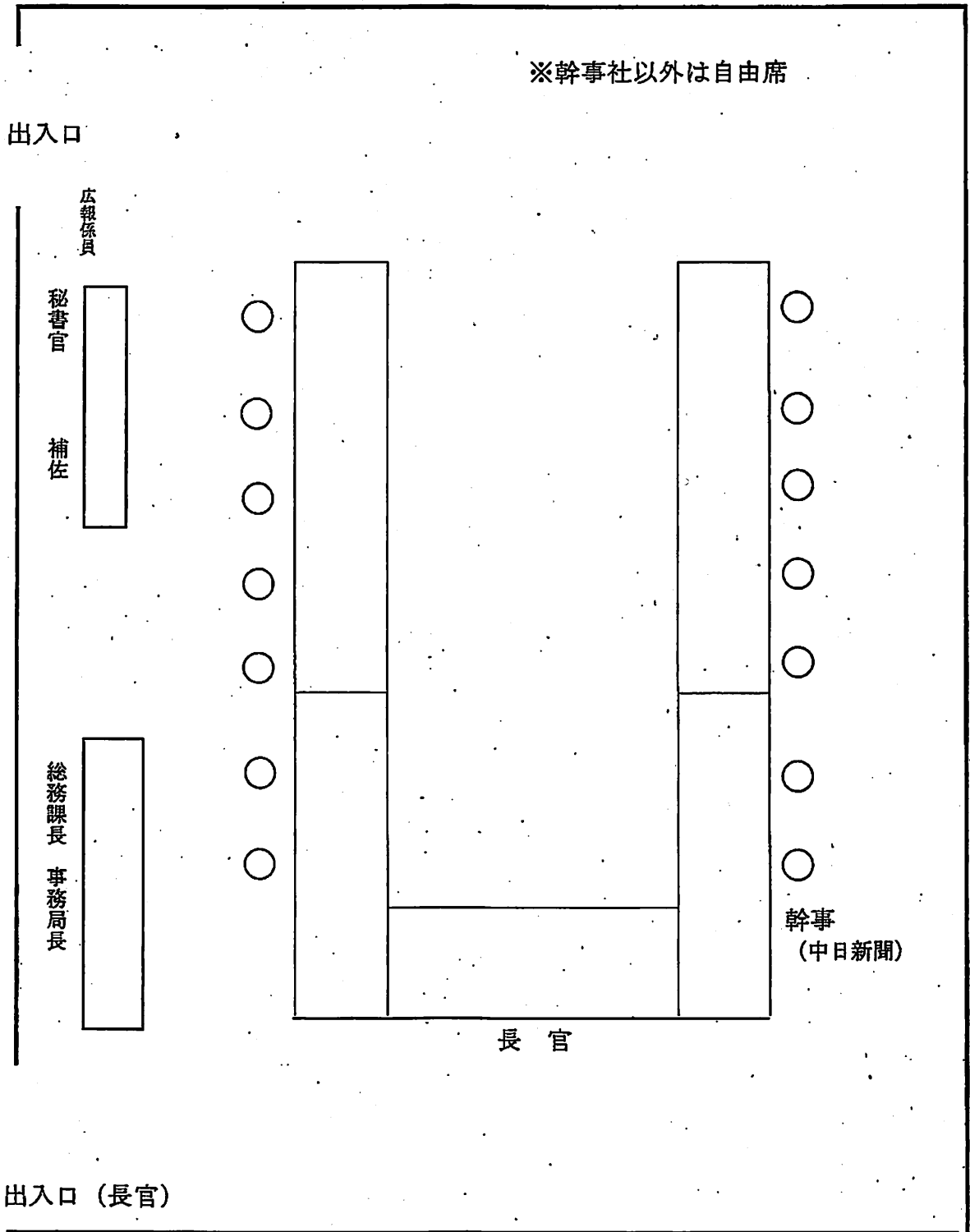
- (1) 開会宣言(総務課長)
- (2) 写真撮影(1分間)
- (3) 挨拶(長官)
- (4) 代表質問(幹事社・中日新聞)
- (5) 質疑応答(約15分間)
- (6) 閉会宣言(総務課長)

6 その他

- (1) 別紙3(想定質問)のとおり
- (2) 名古屋司法記者クラブに対し、別紙4を配布する。

(別紙1)

綿引長官記者会見配席図 (中会議室)



(別紙2)

綿引長官着任記者会見進行順序

[進行：総務課長]

記者会見の前にあらかじめお知らせします。カメラの撮影等は、長官入室時から幹事社の代表質問での回答が終了するまでの間、ということで御了解いただきたいと思っておりますので、御協力をお願いします。

(長官 入室して着席)

(※入室時からの撮影であるため入口からの先導なし)

ただいまから、綿引長官の着任記者会見を行います。

まず、御挨拶の前に1分程度、カメラ等による撮影の時間を設けさせていただきますので、御自由に撮影してください。

(およそ1分経過後)

それでは、綿引長官から、御挨拶をさせていただきます。

(長官挨拶)

まず、幹事社の中日新聞から、代表で質問をお願いします。

(代表質問)

カメラの撮影等はここまでとさせていただきます。続きまして、みなさん方からの御質問をお願いします。御質問される場合は、挙手の上、先に社名と記者のお名前をお申し出ください。

(各社質疑応答)

そろそろ予定の時間がまいりましたが、この程度でよろしいでしょうか。これをもちまして、綿引長官の着任記者会見を終了させていただきます。

(長官退室)

(別紙3)

記者質問事項(想定)

- ・ 着任にあたっての抱負
- ・ 名古屋高裁長官の内示を受けた時の感想
- ・ 名古屋(及び東海北陸)地域についての印象
- ・ 裁判官を志した理由
- ・ 裁判官としての信条
- ・ 専門分野
- ・ これまでに関わった仕事・裁判の中で印象深かったこと
- ・ 名古屋高裁長官として取り組みたい事項
- ・ 裁判員制度について
- ・ 趣味, 家族構成, 座右の銘

(別紙4)

平成30年8月28日

名古屋司法記者クラブ加盟社記者 各位

名古屋高等裁判所事務局総務課

綿引万里子長官の着任記者会見を下記のとおり行いますので御案内します。

なお、代表質問については、幹事社においてとりまとめのうえ、9月3日(月)までに当課広報係へ提出してください。

記

1 日時

9月10日(月)午後1時10分から午後1時40分まで

2 場所

名古屋高等裁判所中会議室(11階)

3 写真撮影等について

総務課長の合図の時から代表質問終了までの間、カメラによる撮影等ができません(撮影位置は自由)。

4 記者会見進行次第

- (1) 開会宣言
- (2) 写真撮影(1分間)
- (3) 長官挨拶
- (4) 幹事社代表質問
- (5) 質疑応答(約15分間)
- (6) 閉会宣言

以上

幹事社代表質問事項及び出席予定記者

第1 幹事社代表質問事項

- 1 裁判官を志したきっかけや、これまでの主なご経歴を教えてください。
- 2 これまでの仕事で、印象に残っているものを教えてください（可能でしたら、①現場の裁判官として、②地家裁所長や別の高裁長官として、の両方を挙げていただけたら幸いです。）。
- 3 新長官としての抱負や、取り組みたいことは何ですか。
- 4 現在の裁判制度や裁判官にはどのような課題があり、それに対してどのように取り組もうと考えていらっしゃいますか。
- 5 休日の過ごし方や趣味、特技を教えてください。

第2 出席予定記者

- 1 朝日新聞社 [REDACTED]
- 2 共同通信社 [REDACTED]
- 3 中日新聞社 [REDACTED]
- 4 日本経済新聞社 [REDACTED]
- 5 日本放送協会 [REDACTED] (ビデオカメラ取材希望あり)
- 6 毎日新聞社 [REDACTED]
- 7 読売新聞社 [REDACTED]
- 8 CBCテレビ [REDACTED] (ビデオカメラ取材希望あり)

以上、ペン記者8人

ビデオカメラ2台

綿引名古屋高等裁判所長官略歴

- | | |
|-------|---|
| 1 氏名 | わた ひき まりこ
綿 引 万里子 (32期) |
| 2 年齢 | 昭和30年5月2日生 (63歳) |
| 3 出身地 | 東京都 |
| 4 略歴 | 昭和52年 10月 司法試験第二次試験合格
53年 4月 司法修習生 (東京)
55年 4月 東京地裁判事補
58年 4月 岐阜地家裁判事補
61年 4月 東京地裁判事補
61年 8月 最高裁行政局付
63年 8月 東京地裁判事補
平成元年 4月 大阪地裁判事補
2年 4月 大阪地裁判事
4年 3月 最高裁裁判所調査官
9年 4月 東京地裁判事
13年 4月 東京地裁判事部総括
17年 3月 司法研修所教官
18年 10月 東京高裁判事
21年 3月 最高裁上席裁判所調査官
24年 3月 宇都宮地裁所長
26年 7月 横浜家裁所長
27年 6月 東京高裁判事部総括
28年 4月 札幌高裁長官
30年 9月 名古屋高裁長官 |